

緊急事態宣言による臨時休館中(4/8～5/25)に行ったサービスについて

成田市立図書館

【新型コロナウイルス感染症情報コーナー】4/15～5/26

成田市役所本庁舎玄関ホールにおいて、来庁者の方々へ向けて「新型コロナウイルス感染症情報コーナー」を設置しました。国や厚生労働省、専門家会議、千葉県が発表した資料や、新型コロナウイルス感染症に関する有用な情報源となる資料を配布しました。

・27タイトル 1,532部配布。

【児童ホームへのリサイクル本の配布】4/24～5/13

休校により預かり時間が長くなっている児童ホームで役立ててもらうため、希望のあった児童ホームへ図書館で除籍となったリサイクル本の配布を行いました。

- ・市内22児童ホーム中 17児童ホームから希望あり。
- ・各児童ホームへ 70～100冊程度、合計約1,480冊のリサイクル本を配布。

【在宅中の子どもへの読書支援「ステイホーム応援！子ども図書便」】5/9～5/19

緊急事態宣言の延長後、在宅中の子どもたちに読書をすることで楽しい時間を過ごしていただけるよう、図書をレターパックプラスで郵送貸出しするサービスを臨時的に実施しました。今後の図書館利用の啓発と、これからの学習に役立ててもらうことを目的として行いました。

- ・事業概要 市内在住で0歳から18歳までの子どもに向けて、希望する本や図書館司書のおすすめ本を無料で郵送貸出。
- ・事業成果 先着200名で開始しましたが、初日で192名の利用があり、急遽200名分の追加受付を可能とし、最終的には448名の利用があり2,287冊(平均一人5冊)の貸出。利用した子どもの年齢は、学齢前20%、小学生58%、中学生17%、高校生5%で、申し込みのうち70%以上が「司書のおすすめ本」を希望。

※利用した子どもや保護者からも感謝の声が多数寄せられ、改めて図書館需要の高さを認識する結果となりました。また、新聞・テレビ等にも取り上げられ、他の公立図書館からも問い合わせがあるなど大きな反響がありました。

【PCR検査待機者対応のホテルへのリサイクル本の提供】5/26

市内ホテルでPCR検査を受けるために待機している方への支援として約400冊のリサイクル本の提供を行いました。

【その他】

通常時より行っており、休館中も継続していたサービス

- ・図書宅配便 有料(着払い)での貸出しで、通常時は年間10件前後の利用があるが、臨時休館中には66件、401冊の利用となっている。

成田市立図書館の段階的なサービスの再開について

成田市立図書館

図書館では、国の緊急事態宣言並びに千葉県からの施設の使用停止要請を受け4月8日から臨時休館していました。図書館は緊急事態宣言の解除(5月25日)に先駆けて、5月22日に千葉県の施設の使用停止要請が解除され、5月26日から段階的にサービスを再開しました。

約2か月の臨時休館後に待ち望んだ大勢の利用者が押しかけ混乱をきたすことが想定されたため、感染状況等も踏まえながら館内等での3密に十分配慮しながら、段階的にサービスを再開してきました。

- ① 5月26日(火)より予約資料受取りサービスの再開 ※対象 1,073名:2,383冊
- ② 6月2日(火)より資料の予約サービスの新規受付の再開
- ③ 6月4日(木)より貸出・返却サービスの再開(臨時休館前の状態)
※ 館内への入場が可能
- ④ 7月1日(水)より閲覧席の利用等サービスの再開
 - ・閲覧席の利用 ・雑誌最新号及び新聞の閲覧 ・インターネットコーナーの利用
 - ・対面での相談サービス ・CD・ビデオの視聴 ・本館2階参考委資料室
 - ・資料の複写

※席を間引いた状態で、短時間(1時間以内)での利用のお願い

※資料利用前後の手洗い・手指の消毒のお願い(日本図書館協会より 7/6 発表)

※体調不良時の利用を控えていただき、マスクの着用をお願い